



観光学科の大学生が中学生をグループ指導

(特非) モンゴル環境情報センター

モンゴル国フブスグル地域における環境教育を伴うエコツーリズムの確立

一般助成

3年目

実践

配布した
ガイドブック 1,000部

ツアーガイド受講
中学生数 700人

活動の全体目標に
対する達成度 90%

課題

エコツーリズムの主たる目的はその地の自然環境と文化遺産を持続的に保護活用し、遊牧民が求めている生活水準を満たすための、観光産業が育成されることが必要である。

目標

モンゴル国内の大学との連携でもってツアーガイドブックを作成し、①ツアールート決定 ②ツーリストキャンプの設営条件 ③ツアーガイドの養成 ④観光産業の育成 ⑤一般住民に対する環境保全の啓蒙啓発活動等を行う。

活動内容

- ツアーガイドブックおよび写真集の作成。フブスグル地域4市村代表者でエコツーリズム協議会を開催。①ツアールート決定 ②ツーリストキャンプの設営条件 ③ツアーガイドの養成・ツアーガイド費の策定 ④観光産業の育成について協議
- モンゴル国立教育大学観光学科の学生は教育実習として、村立中学生・教員・ツアー運転手に対してガイドブックをテキストにして講義をし、ツアーガイドの養成を行った。



ガイドブックと写真集

達成できなかったこと

- 観光産業の育成:観光産業の育成は地元住民の意識の変革とツーリストの増加がカギになる。
- 一般住民に対する環境保全活動の啓発:エコツーリズム協議会の強化。

今後の展望

モンゴル国内大学にエコツーリズム専攻コースが設置されることによって課題の目的が達成される。

成果と工夫したポイント



成果

観光学科の教育実習として大学生30名教員4名が当該地域に各16日間赴き、中学生50人に対して地域の地殻構造・生態系の現状・文化的遺産等の講義を行いツアーガイドとして養成できた。

工夫

モンゴル国立教育大学観光学科のカリキュラムに観光実習として位置付け、学生の学習意欲を高めた。